

一般国道302号 な ご や かんじょう ごう せん 名古屋環状2号線

きんき じどうしゃどう い せ せん 近畿自動車道伊勢線 な ご や かんじょう ごう せん 名古屋環状2号線 な ご や に し とびしま (名古屋西～飛島)

(道路事業)

説明資料

平成26年12月5日

国土交通省中部地方整備局

愛知国道事務所

中日本高速道路株式会社

目 次

1. 事業概要

- (1)事業目的 P 1
- (2)計画概要 P 2

2. 評価の視点

- (1)事業の必要性等に関する視点
(交通渋滞の緩和・物流効率化の支援・災害に強い道路機能の確保) ... P 4

3. 事業の進捗及び見込みの視点 P 5

4. 事業費の見直しについて P 11

5. 費用対効果

- (1)3便益による事業の投資効果 P 13

6. 代替案立案等の可能性の視点 P 14

7. 県・政令市への意見聴取結果 P 14

8. 対応方針（原案） P 15

1. 事業概要

(1) 事業目的

一般国道302号名古屋環状2号線は、愛知県名古屋市中川区富田町から愛知県名古屋市中川区富田町に至る延長58.6km(海上部除く)の道路です。また、近畿自動車道伊勢線は、名古屋市から三重県伊勢市に至る延長約81kmの高速自動車国道であり、名古屋西JCTから飛島JCTまでの延長12.2kmの区間は、名古屋環状2号線の一部区間を形成しています。

名古屋環状2号線沿線では、環状道路及びその内側地域での渋滞、巨大地震発生時の浸水被害など多くの課題があり、本事業の整備により、交通渋滞の緩和、災害に強い道路機能の確保等の効果を見込んでいます。

名古屋環状2号線の全体位置図



今回評価事業

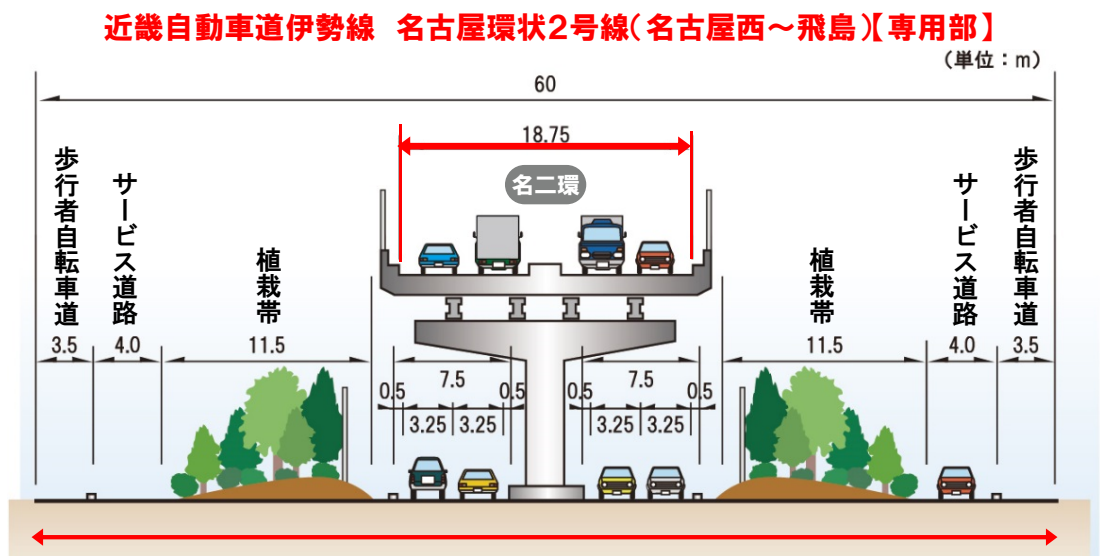
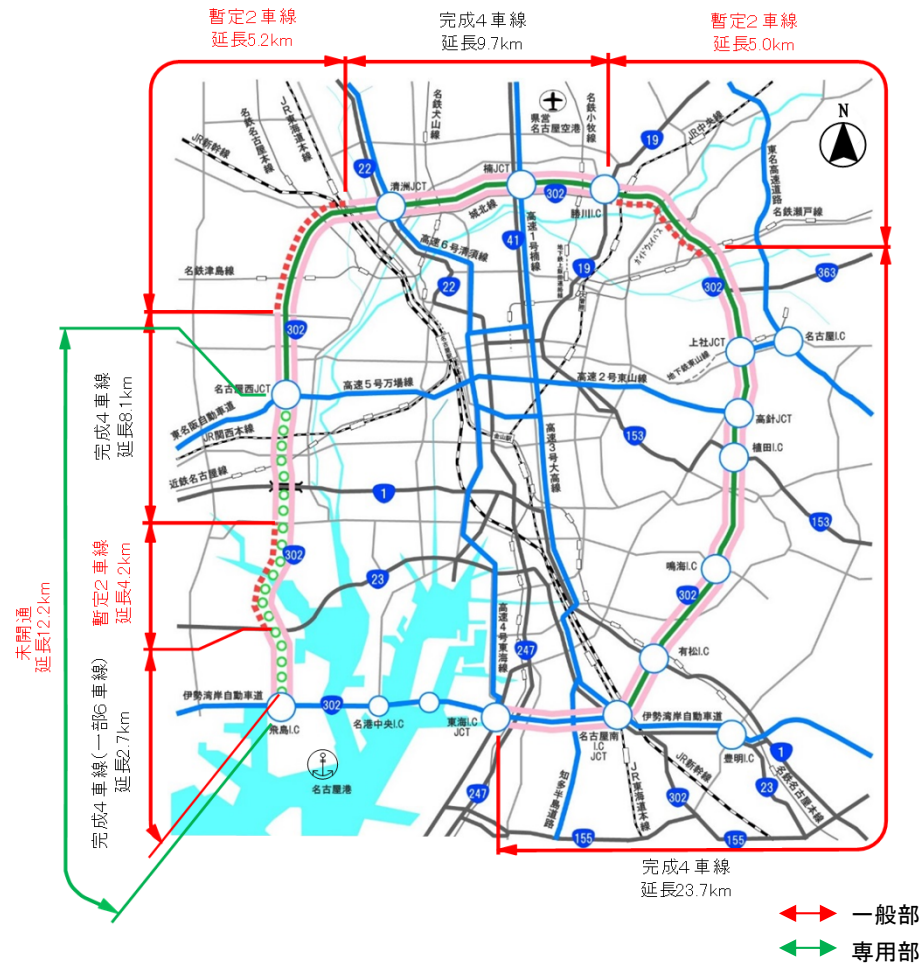
1. 事業概要

(2) 計画概要

名古屋 名古屋
名古屋環状2号線は名古屋市周辺の10km圏内に位置する環状道路であり、自動車専用道路(専用部)と一般国道302号(一般部)で構成されています。一般国道302号名古屋環状2号線は、昭和46年度に事業化、昭和55年度より順次開通し、平成22年度に全線が環状道路として暫定開通しました。引き続き全線4車線化に向けた事業を推進しています。

いせ 名古屋 名古屋 とびしま
近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)は平成21年度に事業化し、早期開通に向け事業を推進しています。

■名古屋環状2号線の整備状況



一般国道302号 名古屋環状2号線【一般部】

※イメージ図のため実際のものとは異なる場合があります。

1. 事業概要

(2) 計画概要

事業名	一般国道302号 なごや 名古屋環状2号線	近畿自動車道伊勢線 なごや 名古屋環状2号線 なごや とびしま (名古屋西～飛島)
道路規格	第4種第1級（一般国道）	第2種第1級（自動車専用道路）
設計速度	60km/h	60km/h
車線数	完成4車線	完成4車線
都市計画決定	昭和57年度	昭和57年度
事業化	昭和46年度	平成21年度
用地着手年度	昭和46年度	平成25年度
工事着手年度	昭和48年度	平成24年度
延長	58. 6km	12. 2km
前回の再評価	平成23年度 (指摘事項なし:継続)	平成23年度 (指摘事項なし:継続)
全体事業費	5, 586億円（36億円増）	1, 350億円（増減なし）

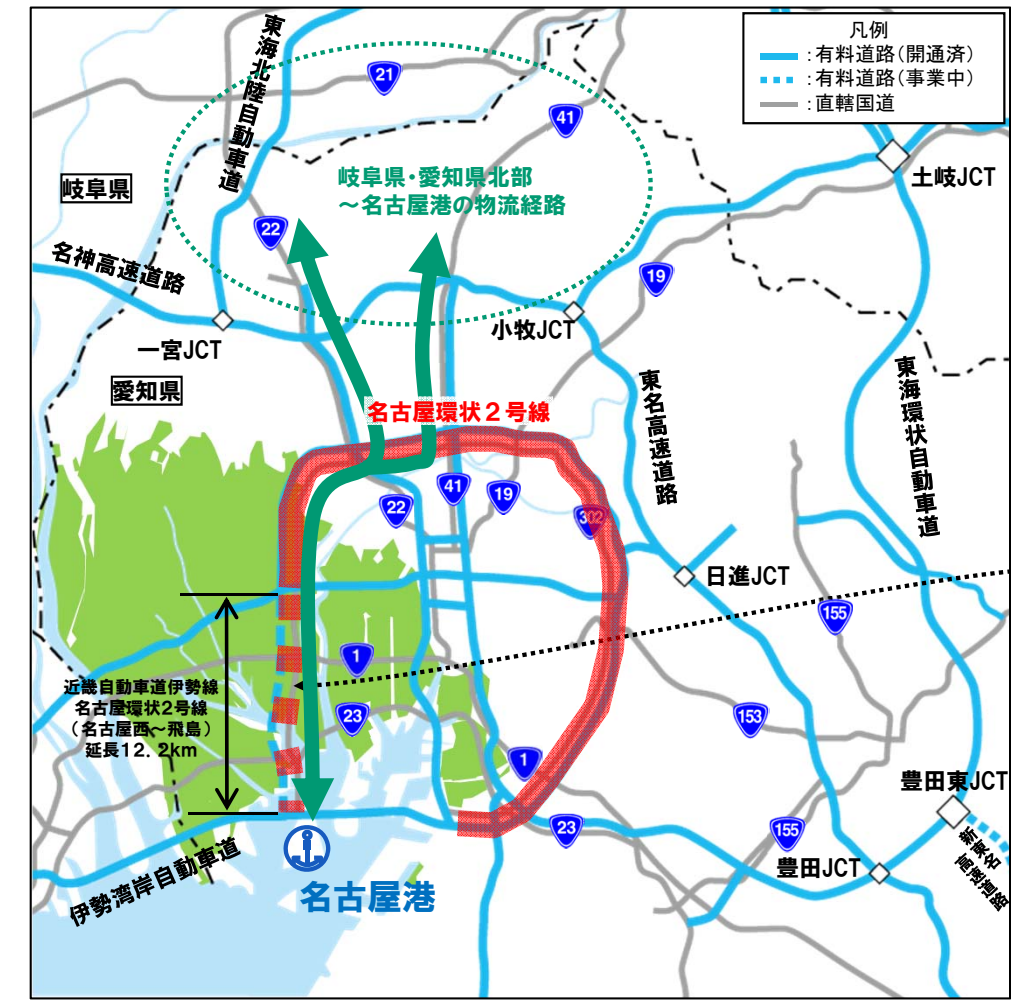
2. 評価の視点：一般部及び専用部

(1) 事業の必要性等に関する視点

■ 交通渋滞の緩和・物流効率化の支援・災害に強い道路機能の確保

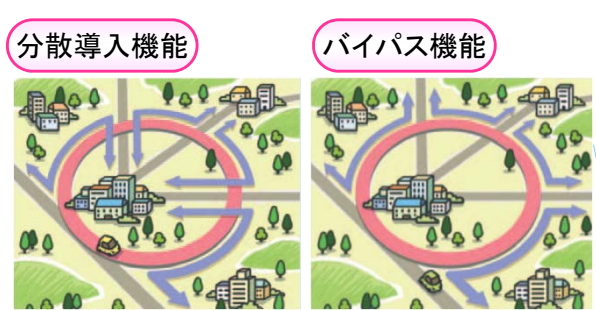
- 本事業の整備により、環状道路の分散導入・バイパス機能が発揮され、環状道路内側及び一般国道302号名古屋環状2号線の渋滞が緩和します。なごや
- 本事業は、ぎふ あいち なごや岐阜県、愛知県北部地域～名古屋港間の陸上輸送時間を短縮し、物流効率化を支援します。
- 高架構造である本事業区間が整備されることで、重要な防災拠点である名古屋港へのアクセスが強化されます。なごや

■ 名古屋環状2号線に求められる機能



■ 浸水想定区域
※南海トラフ巨大地震モデル検討会(第二次報告) 追加資料を基に作成

■ 期待される環状道路機能



■ 国道302号の交通状況



大西一丁目交差点北側を撮影(H26.7)

■ 浸水被害発生時の国道302号・近畿自動車道伊勢線(イメージ)

国道302号冠水時も近畿自動車道伊勢線は走行可能

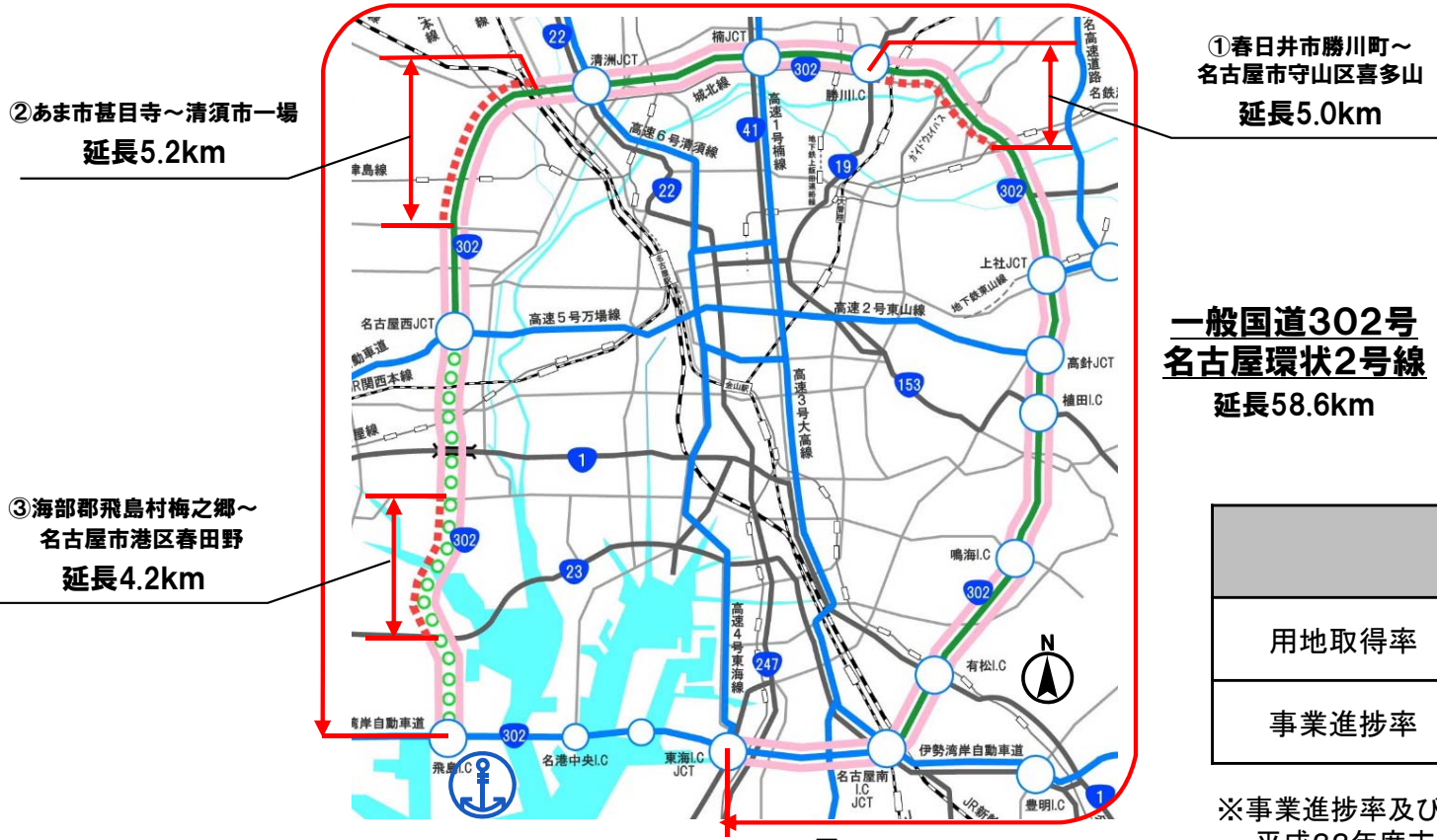


3. 事業の進捗及び見込みの視点：一般部

事業の進捗の見込み状況

平成22年度迄に暫定2車線で全線開通し、残る2車線区間について4車線化整備を進めていきます。

- ①春日井市勝川町^{かすがい}～名古屋市守山区喜多山^{かちがわちよう なごや もりやまく きたやま}(延長5.0km)
ボトルネックとなる1箇所の踏切の立体化を進めるとともに4車線化整備を進めていきます。
- ②あま市甚目寺^{じもくじ}～清須市一場^{きよす いちば}(延長5.2km)
ボトルネックとなる2箇所の踏切の立体化を進めるとともに4車線化整備を進めていきます。
- ③海部郡飛島村梅之郷^{あま とびしま うめのごう}～名古屋市港区春田野^{なごや みなとく はるたの}(延長4.2km)
専用部(近畿自動車道伊勢線^{いせ})の整備と併せて4車線化整備を進めていきます。



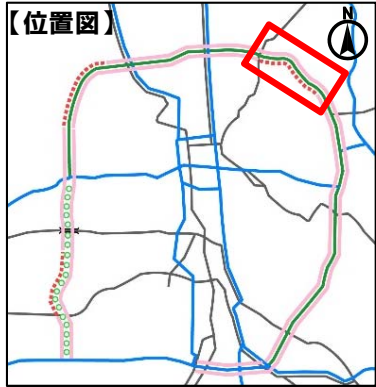
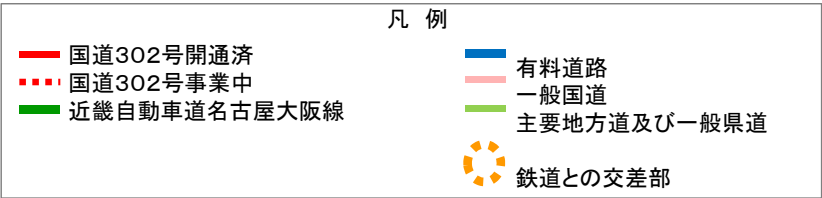
凡 例	
	一般国道302号(開通済) 名古屋環状2号線
	" (事業中)
	近畿自動車道名古屋大阪線
	近畿自動車道伊勢線
	有料道路
	一般国道
	主要地方道

	一般国道302号 名古屋環状2号線
用地取得率	100%→100%
事業進捗率	90%→92%

※事業進捗率及び用地取得率は
平成22年度末→平成25年度末

3. 事業の進捗及び見込みの視点：一般部各区間の進捗状況

①春日井市勝川町～名古屋市守山区喜多山



[工事進捗状況【写真①】]



[名鉄瀬戸線の踏切状況【写真②】]



[国道302号と名鉄瀬戸線の交差点 完成イメージ図]



※名古屋市HP

事業箇所名	事業の進捗状況	備考
一般国道302号 名古屋環状2号線 (春日井市勝川町～名古屋市守山区喜多山)	【用地】 用地取得済 【工事】 平成22年度に暫定2車線開通済みであり、現在、名鉄瀬戸線の立体化に向けた仮線工事を推進	

3. 事業の進捗及び見込みの視点：一般部各区間の進捗状況

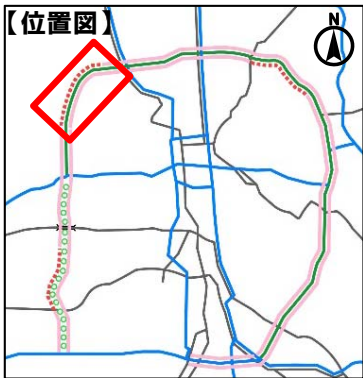
②あま市甚目寺～清須市一場



[名鉄本線の踏切状況【写真①】]



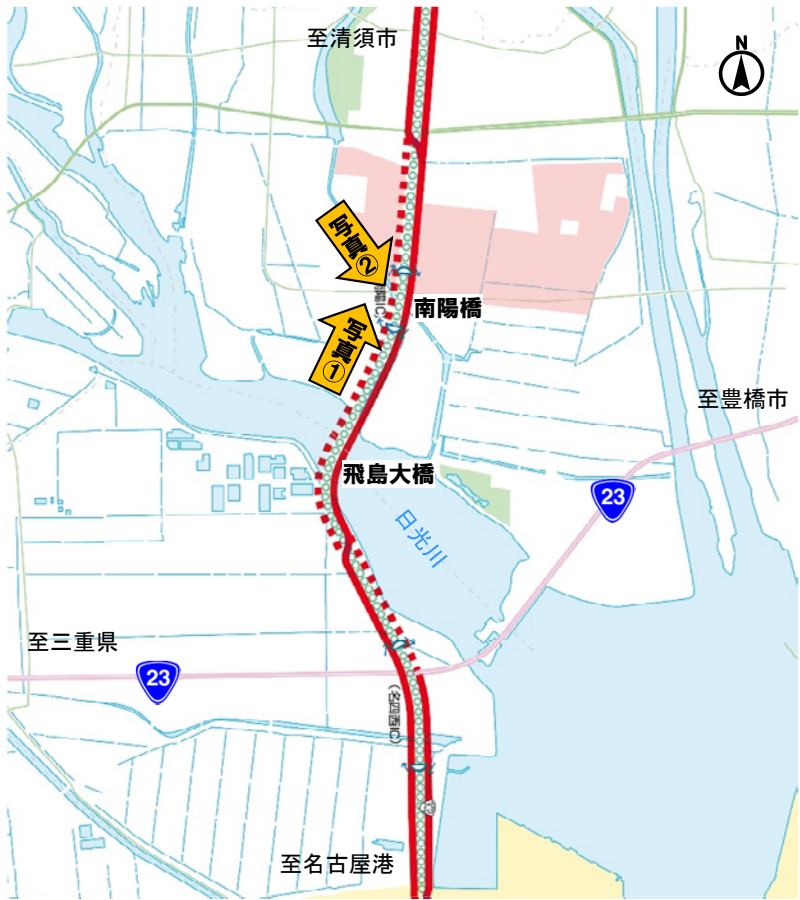
[名鉄津島線の踏切状況【写真②】]



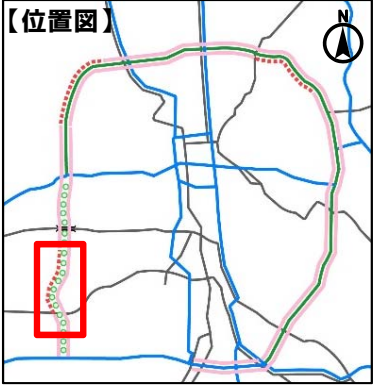
事業箇所名	事業の進捗状況	備考
一般国道302号 名古屋環状2号線 (あま市甚目寺～清須市一場)	【用地】 用地取得済 【工事】 平成12年度に暫定2車線開通済みであり、現在、名鉄本線、 名鉄津島線の立体化に向けた関係機関協議を推進	

3. 事業の進捗及び見込みの視点：一般部各区間の進捗状況

③海部郡飛島村梅之郷～名古屋市港区春田野



- 凡 例
- 国道302号開通済
 - - 国道302号事業中
 - 近畿自動車道伊勢線
 - 近畿自動車道名古屋大阪線
 - 有料道路
 - 一般国道
 - 主要地方道及び一般県道



【南陽橋付近の状況【写真①】】



【南陽橋の状況【写真②】】



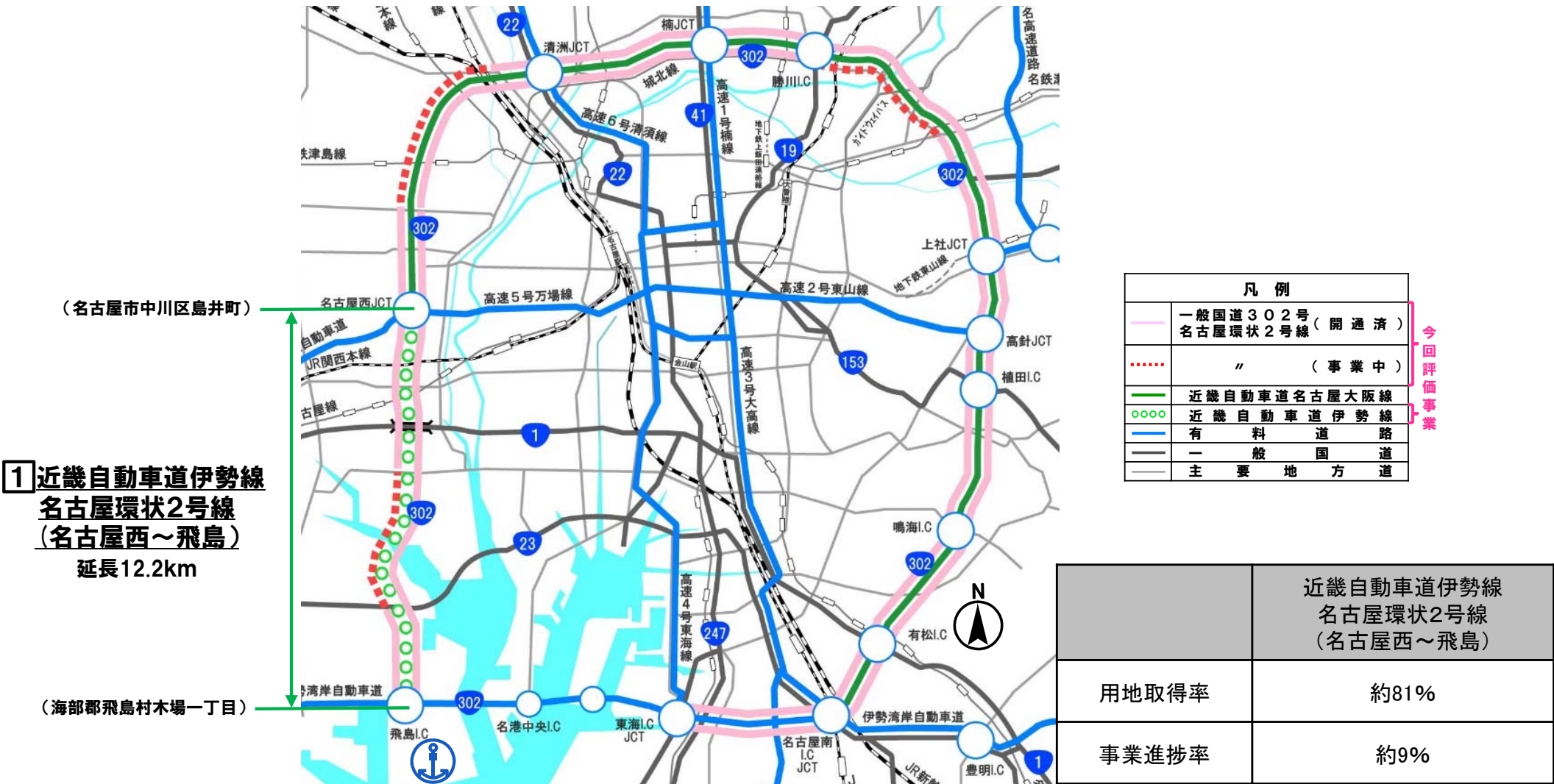
事業箇所名	事業進捗状況	備考
一般国道302号 名古屋環状2号線 (海部郡飛島村梅之郷～ 名古屋市港区春田野)	【用地】 用地取得済 【工事】 昭和62年度に暫定2車線開通済みであり、現在、 改良工、橋梁上・下部工等の工事を推進	

3. 事業の進捗及び見込みの視点: 専用部

事業の進捗の見込み状況

●^{なごや}名古屋市^{なかがわくしまいちよう}中川区^{あま}島井町^{とびしま}～^{きば}海部郡飛島村木場一丁目(延長12.2km)

迅速かつ円滑な物流の実現などのため、早期開通に向けて整備を進めていきます。



※事業進捗率及び用地取得率は平成25年度末

3. 事業の進捗及び見込みの視点：専用部の進捗状況

1 名古屋市中川区島井町～海部郡飛島村木場一丁目

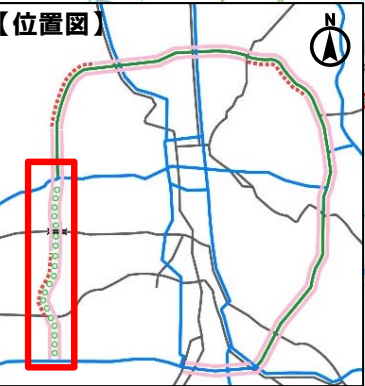
【小川高架橋下部工(上り)の状況【写真①】】



【飛島大橋の状況【写真②】】



- 凡 例
- 国道302号開通済
 - 国道302号事業中
 - 近畿自動車道伊勢線
 - 近畿自動車道名古屋大阪線
 - 有料道路
 - 一般国道
 - 主要地方道及び一般県道



【梅之郷北高架橋下部工(上り)の状況【写真③】】

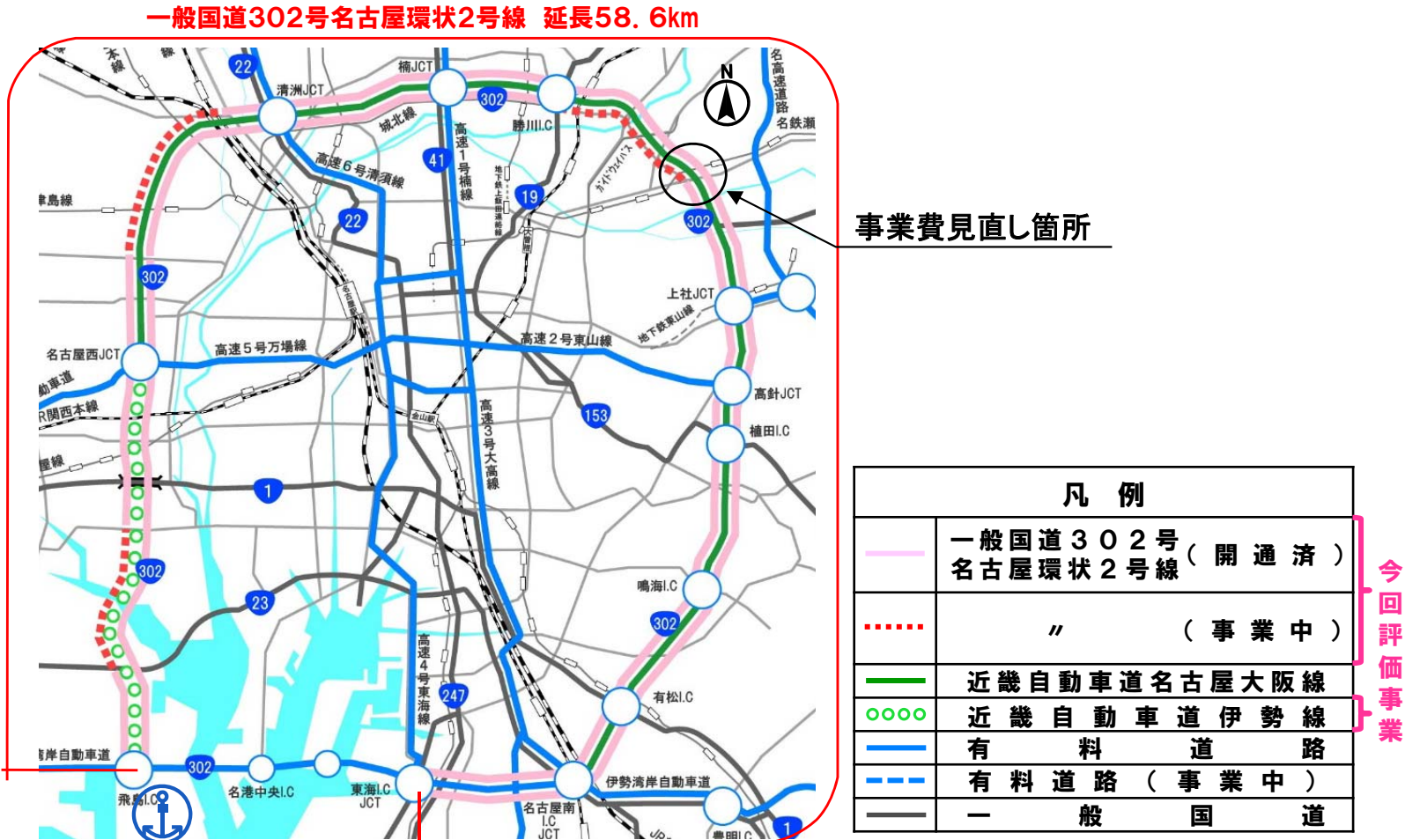


事業箇所名	事業進捗状況	備考
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線 (名古屋西～飛島)	【用地】 平成25年度より用地取得に着手し、今年度も引き続き推進 【工事】 平成24年度より工事着手し、現在、橋梁下部工工事及び橋梁設計等を推進	

4. 事業費の見直しについて:一般部

(1)一般国道302号の事業費の見直しについて

全体事業費を見直す理由			[全体事業費] H23評価時点 5, 550億円 ⇒ 今回 5, 586億円 (約36億円増額)		
項目			増額		備考
1	設計基準等の変更による増額(耐震基準)	名鉄瀬戸線高架構造の変更による増額	36億円	36億円	
			合計	36億円	



4. 事業費の見直しについて（1. 設計基準等の変更による増額【+36億円】）

■名鉄瀬戸線高架構造の変更による増額の理由

+36億円

○平成12年度に大規模地震を想定した鉄道構造物等設計標準（耐震設計）が適用されることとなったため、名鉄瀬戸線高架化計画も変更する必要が生じ、工事費が増額しました。

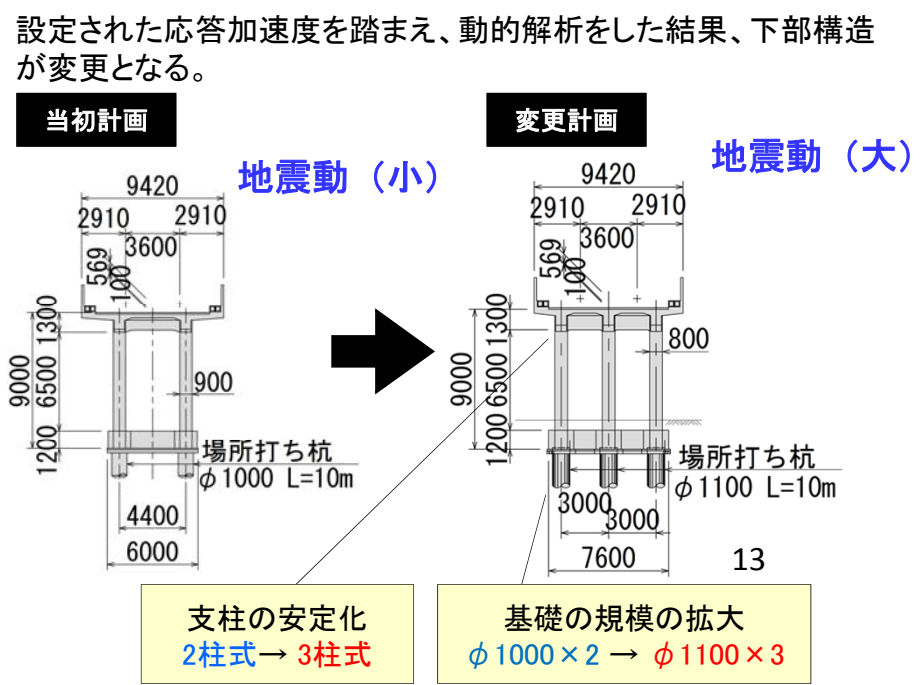
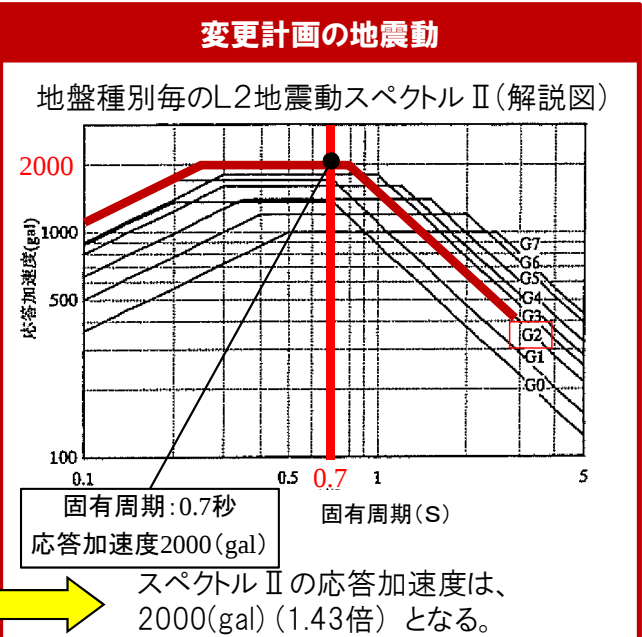
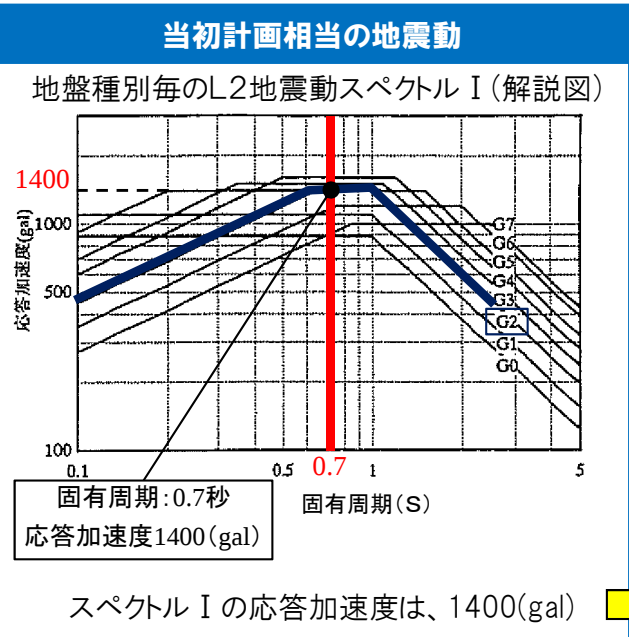
【事業区間位置図】



【スペクトルⅠ（海洋型地震）】
海洋型地震を対象とし、これまでの設計で考慮されていた弾性加速度応答スペクトル

【スペクトルⅡ（内陸直下型地震）】
内陸直下型地震を対象として、既往の地震観測記録に基づいて統計解析等により設定した弾性加速度応答スペクトル

【地震動の変更】



■事業費の見直し

	当初	変更	増減
総額	21億円	57億円	+36億円

※鉄道構造物等設計標準・同解説（耐震設計）P69

※鉄道構造物等設計標準・同解説（耐震設計）P69

5. 費用対効果

(1) 3便益による事業の投資効果

◇B／C(事業全体) =
$$\frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費減少便益} + \text{交通事故削減便益}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}}$$

【事業全体】

事業箇所名	便益(億円)				費用(億円)			B/C	前回評価時 B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	計	事業費	維持管理費	計		
一般国道302号 名古屋環状2号線	26, 006	3, 526	505	30, 037	11, 944	474	12, 418	2. 4	2. 4
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線 (名古屋西～飛島)	1, 863	271	104	2, 238	1, 173	107	1, 281	1. 7	1. 5

【残事業】

事業箇所名	便益(億円)				費用(億円)			B/C	前回評価時 B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	計	事業費	維持管理費	計		
一般国道302号 名古屋環状2号線	617	71	2	690	345	50	395	1. 7	1. 6
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線 (名古屋西～飛島)	1, 863	271	104	2, 238	880	107	988	2. 3	1. 6

※1 平成22年8月に公表した「将来交通需要推計の改善について」にて検討することになっていた推計手法の改善(第二段階)を反映した将来OD表に基づきB／Cを算出。

※2 残事業のB／C算出にあたっては、未整備区間において、事業を継続した場合に追加的に必要となる事業費の合計と、追加的に発生する便益を対象として算出した。

※参 考：一般国道302号と近畿自動車道伊勢線を一体の事業として算出した費用便益比(B／C) 【事業全体】2. 3 【残事業】2. 1

【前回再評価時からの変更点】

- 1. H26事業化済道路網に変更(H23→H26)
- 2. 費用便益分析の基準年次を変更(H23→H26)
- 3. 全体事業費の見直しによる変更(一般国道302号名古屋環状2号線)

6. 代替案立案等の可能性の視点

- 一般国道302号名古屋環状2号線、近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線なごやにし とびしま(名古屋西～飛島)は、地形、土地利用状況、主要幹線道路との接続などを勘案した路線計画となっており、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、災害に強い道路機能の確保など、期待される効果が大きい事業で、地域の課題に大きな変化は無いことから、現計画が最も最適であると考えます。

7. 県・政令市への意見聴取結果

<一般国道302号 名古屋環状2号線>

■愛知県の意見

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議はありません。
- 2 名古屋環状2号線は、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす環状道路として、本都市圏の今後の発展の為に欠かすことのできない重要な社会基盤であることから、1日も早い開通を期待する。
- 3 なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

■名古屋市の意見

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議は、ありません。
- 2 当該道路は、名古屋圏の環状道路を形成し、名古屋都心部に集中する交通を適切に分散導入する重要な道路であるため、一日でも早い4車化をお願いしたい。

7. 県・政令市への意見聴取結果

なごやにし とびしま
＜近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）＞

■愛知県の意見

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議はありません。
- 2 名古屋環状2号線は、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす環状道路として、本都市圏の今後の発展の為に欠かすことのできない重要な社会基盤である。
なごやにし とびしま
特に、近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）は、唯一残された未供用区間であり、「国際産業ハブ港」の実現を目指す名古屋港並びに国際拠点空港である中部国際空港への重要なアクセス道路として、本地域の企業活動に大きな影響を与える路線であることから、1日も早い開通を期待する。
- 3 なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

■名古屋市の意見

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議は、ありません。
- 2 当該道路は、名古屋港や中部国際空港への重要なアクセス道路であるとともに、海拔ゼロメートル地帯における緊急輸送道路として機能する道路であるため、1日も早い開通をお願いしたい。

8. 対応方針（原案）

なごやにし とびしま
■一般国道302号名古屋環状2号線、近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）の事業を継続する。

一般国道302号 な ご や かんじょう ごう せん 名古屋環状2号線

(道路事業)

説明資料

平成26年12月5日

国土交通省中部地方整備局
愛知国道事務所

目 次

1. 事業概要

- (1)事業目的 P 1
- (2)計画概要 P 2

2. 評価の視点

- (1)事業の必要性等に関する視点
(交通渋滞の緩和・物流効率化の支援・災害に強い道路機能の確保) ... P 4

3. 事業の進捗及び見込みの視点 P 5

4. 事業費の見直しについて P 9

5. 費用対効果

- (1)3便益による事業の投資効果 P 11

6. 代替案立案等の可能性の視点 P 12

7. 県・政令市への意見聴取結果 P 12

8. 対応方針（原案） P 12

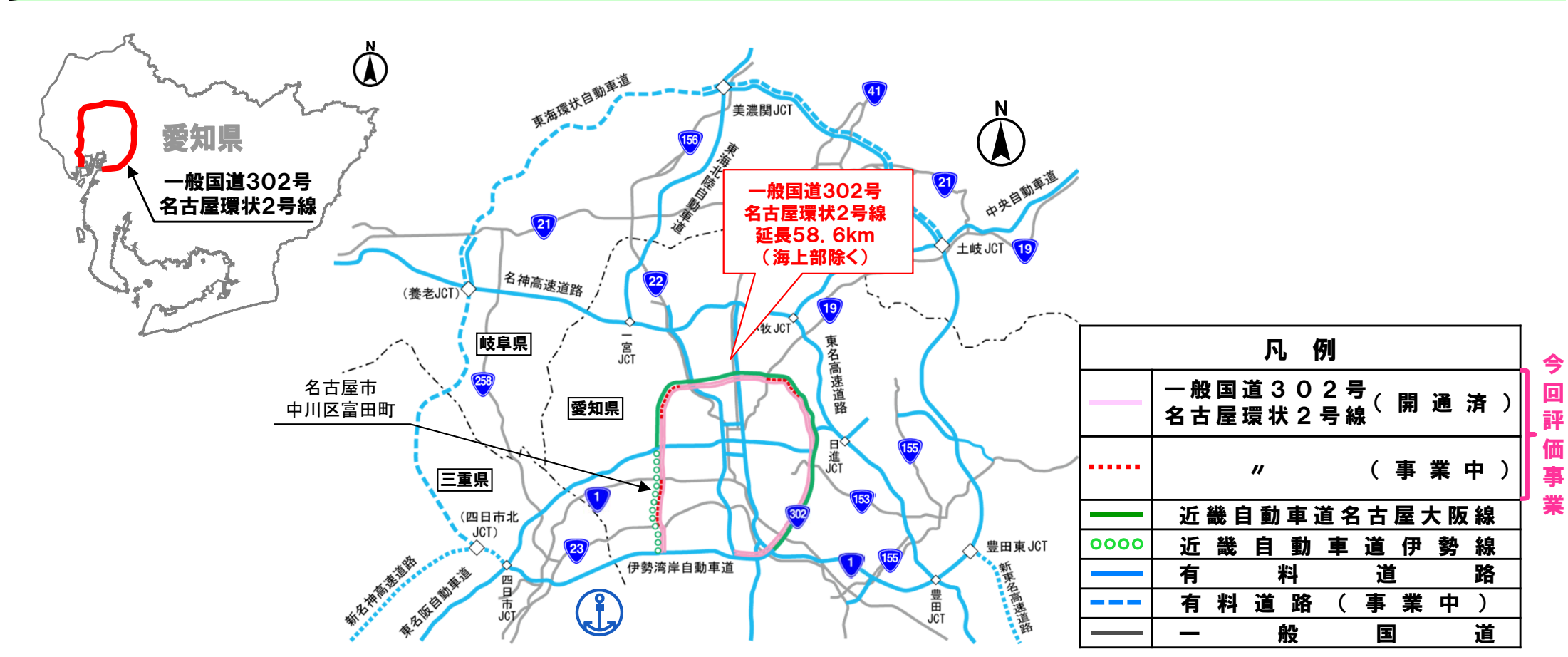
1. 事業概要

(1) 事業目的

一般国道302号名古屋環状2号線は、愛知県名古屋市中川区富田町から愛知県名古屋市中川区富田町に至る延長58.6km(海上部除く)の道路です。

名古屋環状2号線沿線では、環状道路及びその内側地域での渋滞、名古屋港に集まる物流交通など多くの課題があり、本事業の整備により、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援等の効果を見込んでいます。

名古屋環状2号線の全体位置図



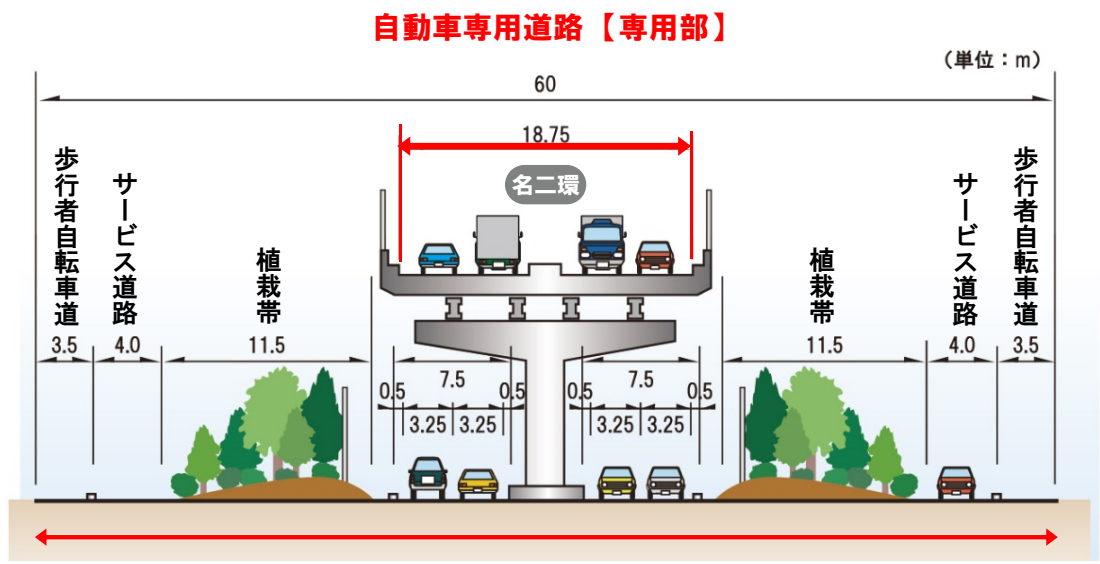
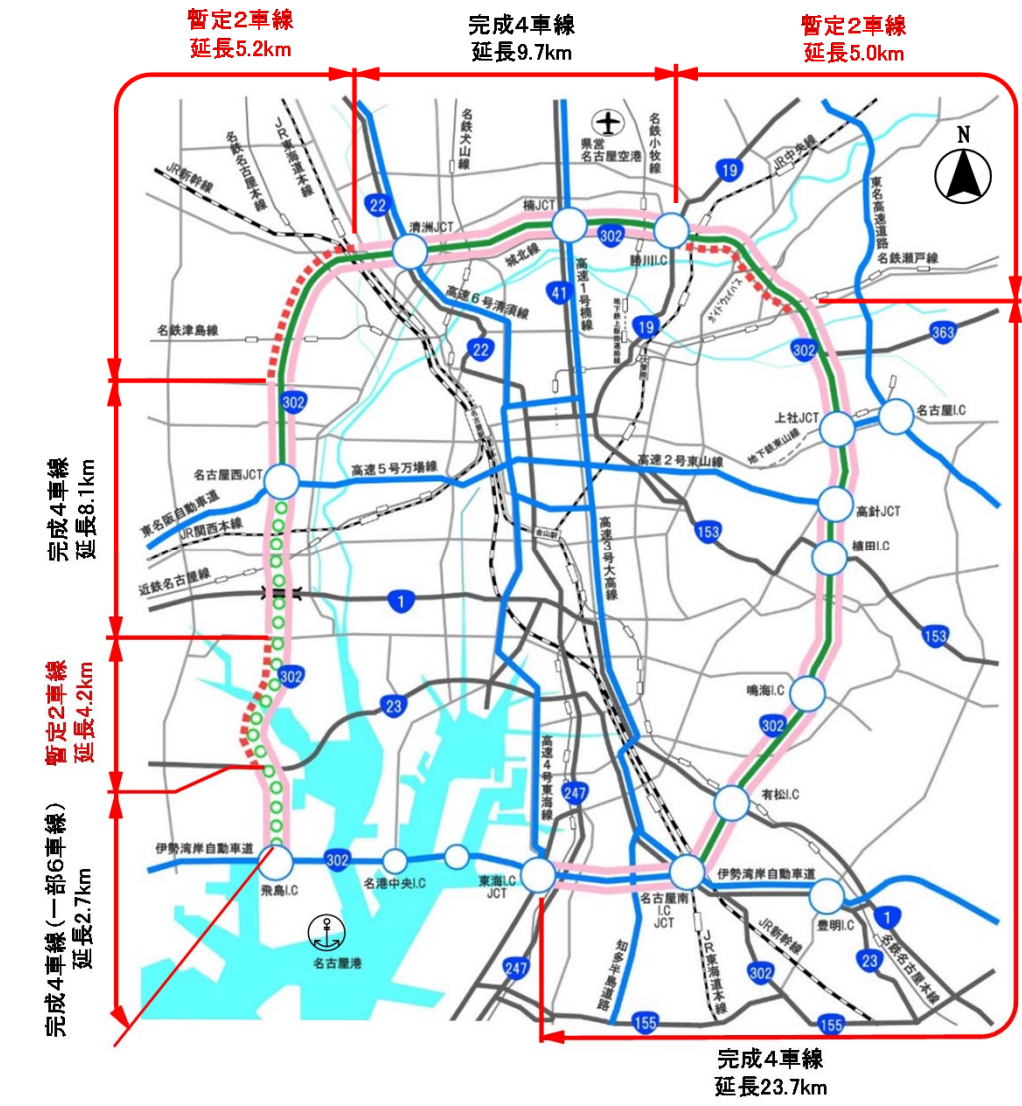
今回評価事業

1. 事業概要

(2) 計画概要

名古屋環状2号線は名古屋市周辺の10km圏内に位置する環状道路であり、自動車専用道路(専用部)と一般国道302号(一般部)の複断面により構成されています。一般国道302号名古屋環状2号線は、昭和46年度に事業化、昭和55年度より順次開通し、平成22年度に全線が環状道路として暫定開通しました。引き続き全線4車線化に向けた事業を推進しています。

■一般国道302号名古屋環状2号線の整備状況



一般国道302号 名古屋環状2号線【一般部】

※イメージ図のため実際のものとは異なる場合があります。

1. 事業概要

(2) 計画概要

事業名	一般国道302号 なごや 名古屋環状2号線
道路規格	第4種第1級（一般国道）
設計速度	60km/h
車線数	完成4車線
都市計画決定	昭和57年度
事業化	昭和46年度
用地着手年度	昭和46年度
工事着手年度	昭和48年度
延長	58. 6km
前回の再評価	平成23年度 (指摘事項なし:継続)
全体事業費	5, 586億円（36億円増）

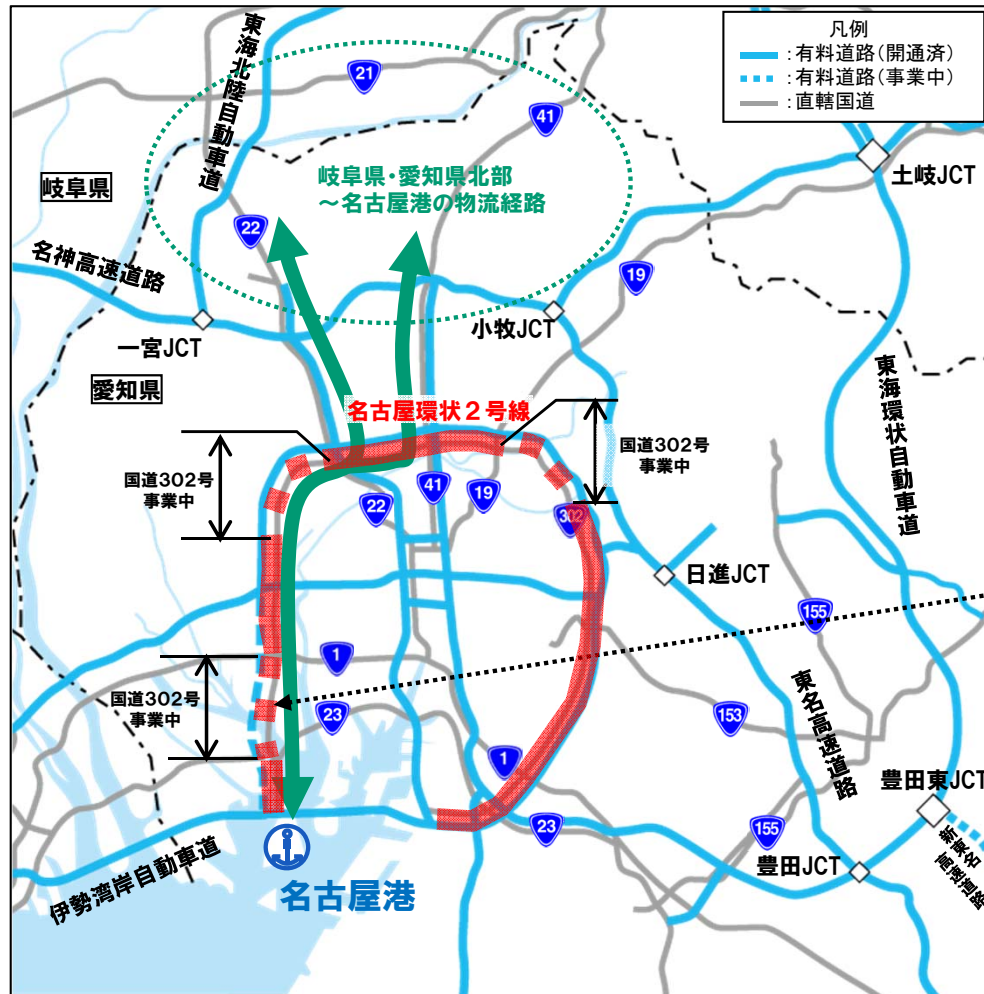
2. 評価の視点

(1) 事業の必要性等に関する視点

■ 交通渋滞の緩和・物流効率化の支援

- 本事業の整備により、環状道路の分散導入・バイパス機能が発揮され、環状道路内側及び一般国道302号名古屋環状2号線の渋滞が緩和します。
- 本事業は、^{ぎふ}岐阜県、^{あいち}愛知県北部地域～^{なごや}名古屋港間の陸上輸送時間を短縮し、物流効率化を支援します。

■ 一般国道302号名古屋環状2号線に求められる機能



■ 期待される環状道路機能

分散導入機能



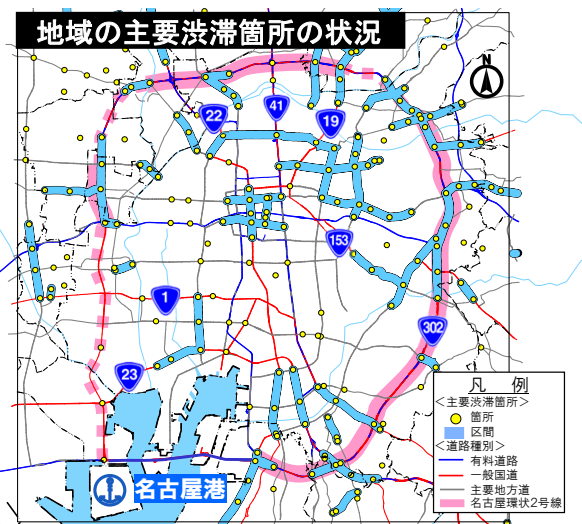
バイパス機能



■ 国道302号の交通状況



大西一丁目交差点北側を撮影(H26.7)

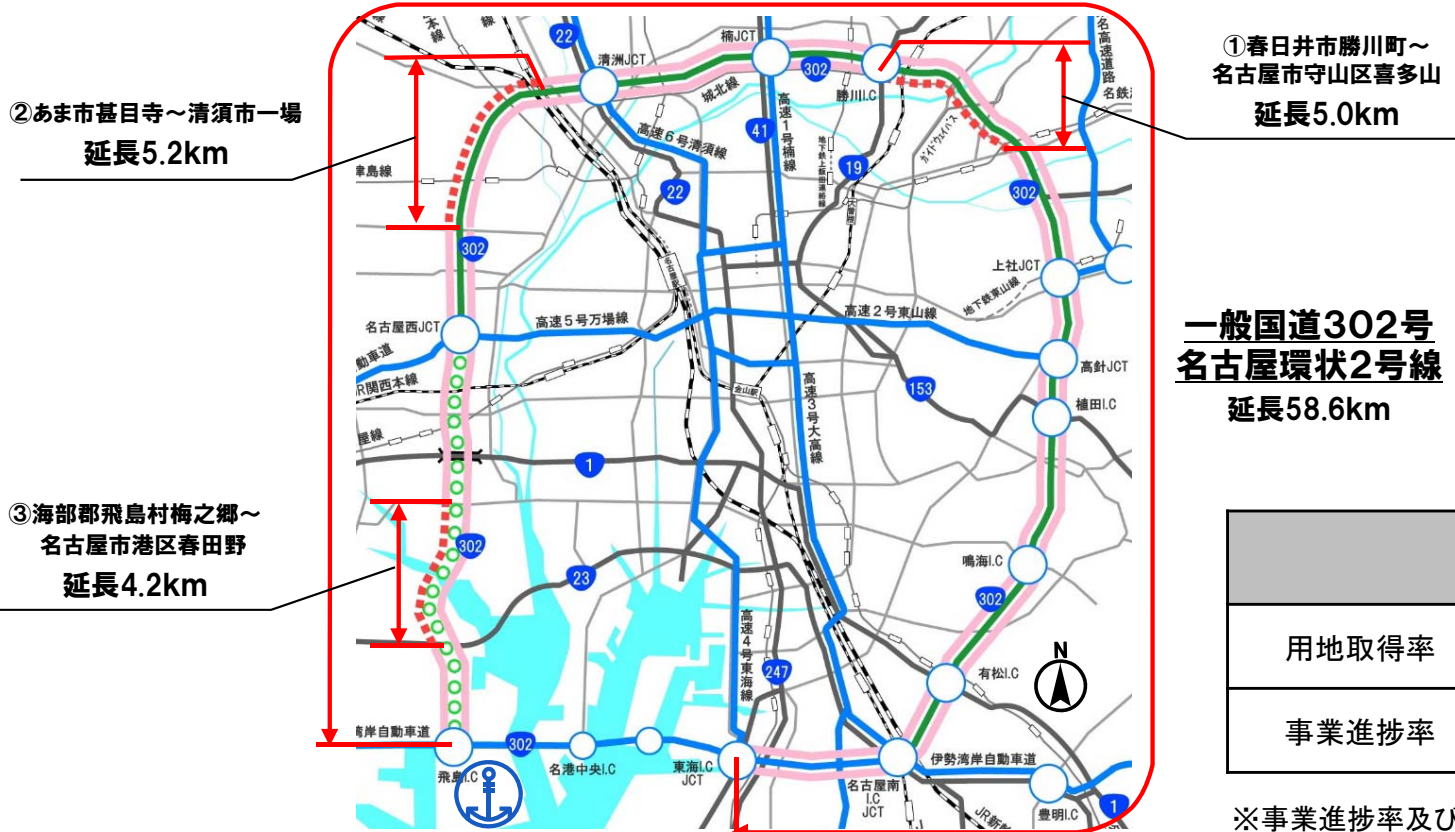


3. 事業の進捗及び見込みの視点

事業の進捗の見込み状況

平成22年度迄に暫定2車線で全線開通し、残る2車線区間について4車線化整備を進めていきます。

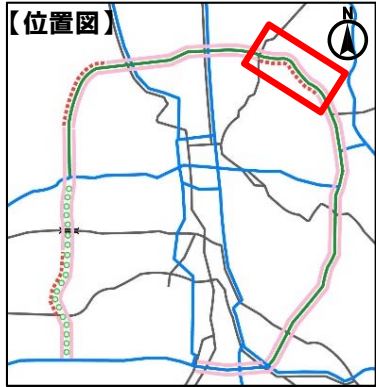
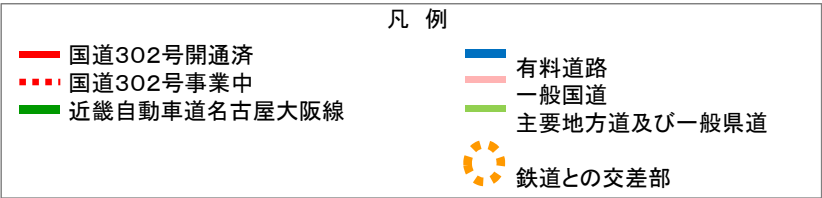
- ①春日井市勝川町^{かすがい}～名古屋市守山区喜多山^{かちがわちよう なごや もりやまく きたやま}(延長5.0km)
ボトルネックとなる1箇所の踏切の立体化を進めるとともに4車線化整備を進めていきます。
- ②あま市甚目寺^{じもくじ}～清須市一場^{きよす いちば}(延長5.2km)
ボトルネックとなる2箇所の踏切の立体化を進めるとともに4車線化整備を進めていきます。
- ③海部郡飛島村梅之郷^{あま とびしま うめのごう}～名古屋市港区春田野^{なごや みなとく はるたの}(延長4.2km)
専用部(近畿自動車道伊勢線^{いせ})の整備と併せて4車線化整備を進めていきます。



※事業進捗率及び用地取得率は
平成22年度末→平成25年度末

3. 事業の進捗及び見込みの視点

①春日井市勝川町～名古屋市守山区喜多山



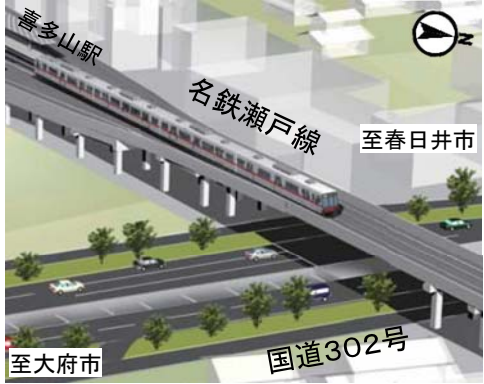
[工事進捗状況【写真①】]



[名鉄瀬戸線の踏切状況【写真②】]



[国道302号と名鉄瀬戸線の交差点 完成イメージ図]



※名古屋市HP

事業箇所名	事業の進捗状況	備考
一般国道302号 名古屋環状2号線 (春日井市勝川町～名古屋市守山区喜多山)	【用地】 用地取得済 【工事】 平成22年度に暫定2車線開通済みであり、現在、名鉄瀬戸線の立体化に向けた仮線工事を推進	

3. 事業の進捗及び見込みの視点

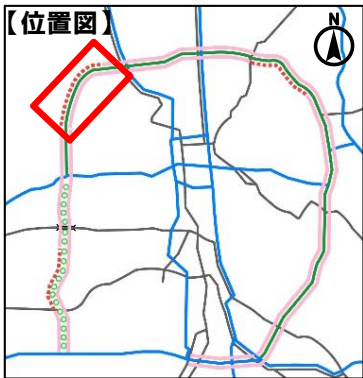
②あま市甚目寺～清須市一場



[名鉄本線の踏切状況【写真①】]



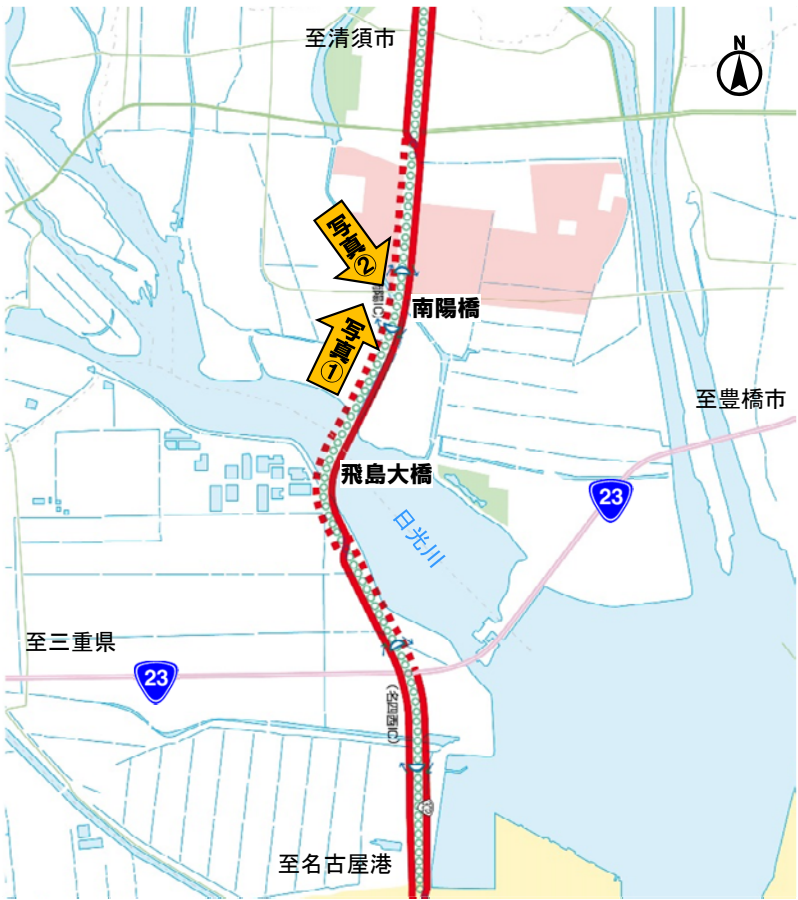
[名鉄津島線の踏切状況【写真②】]



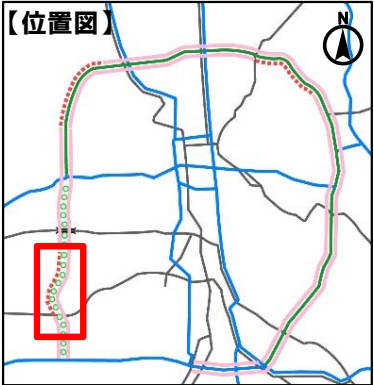
事業箇所名	事業の進捗状況	備考
一般国道302号 名古屋環状2号線 (あま市甚目寺～清須市一場)	【用地】 用地取得済 【工事】 平成12年度に暫定2車線開通済みであり、現在、名鉄本線、 名鉄津島線の立体化に向けた関係機関協議を推進	

3. 事業の進捗及び見込みの視点

③海部郡飛島村梅之郷～名古屋市港区春田野



- 凡 例
- 国道302号開通済
 - - 国道302号事業中
 - 近畿自動車道伊勢線
 - 近畿自動車道名古屋大阪線
 - 有料道路
 - 一般国道
 - 主要地方道及び一般県道



【南陽橋付近の状況【写真①】】



【南陽橋の状況【写真②】】



事業箇所名	事業進捗状況	備考
一般国道302号 名古屋環状2号線 (海部郡飛島村梅之郷～ 名古屋市港区春田野)	【用地】 用地取得済 【工事】 昭和62年度に暫定2車線開通済みであり、現在、 改良工、橋梁上・下部工等の工事を推進	

4. 事業費の見直しについて

一般国道302号の事業費の見直しについて

全体事業費を見直す理由

[全体事業費] H23評価時点 5, 550億円 ⇒ 今回 5, 586億円 (約36億円増額)

項目			増額		備考
1	設計基準等の変更による増額(耐震基準)	名鉄瀬戸線高架構造の変更による増額	36億円	36億円	
			合計	36億円	

一般国道302号名古屋環状2号線 延長58.6km



事業費見直し箇所

凡 例	
	一般国道302号(開通済) 名古屋環状2号線
	〃 (事業中)
	近畿自動車道名古屋大阪線
	近畿自動車道伊勢線
	有料道路
	有料道路(事業中)
	一般国道

今回評価事業

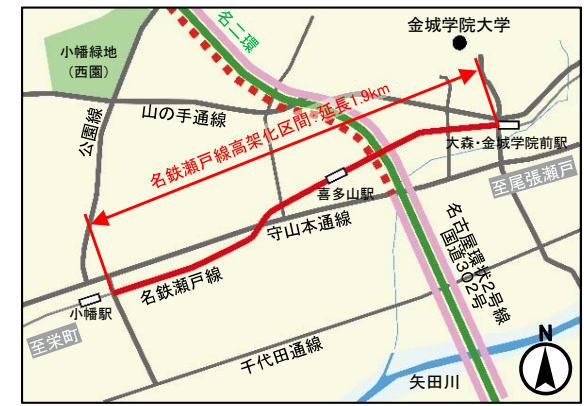
4. 事業費の見直しについて（1. 設計基準等の変更による増額【+36億円】）

■名鉄瀬戸線高架構造の変更による増額の理由

+36億円

○平成12年度に大規模地震を想定した鉄道構造物等設計標準（耐震設計）が適用されることとなったため、名鉄瀬戸線高架化計画も変更する必要が生じ、工事費が増額しました。

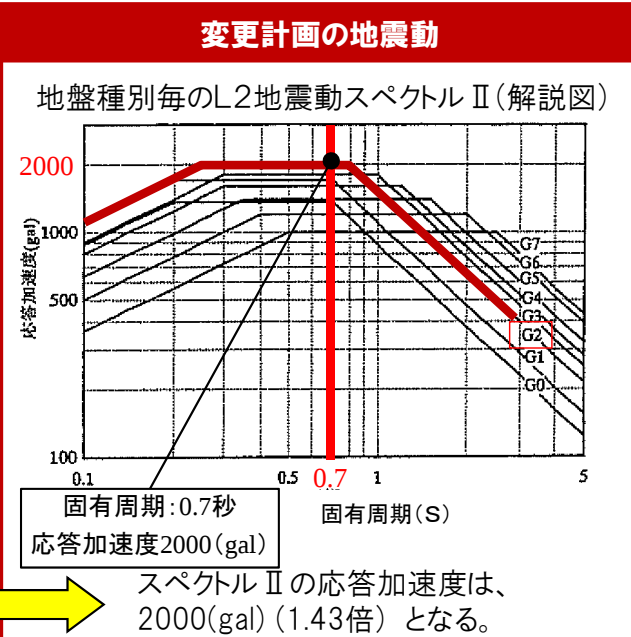
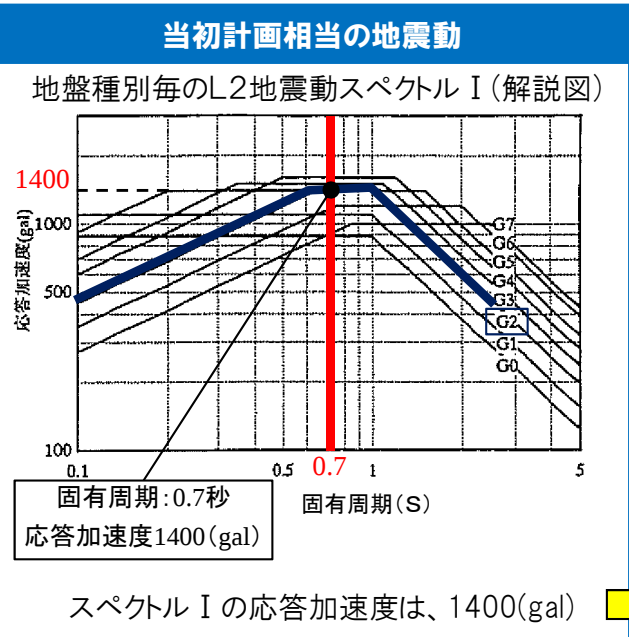
【事業区間位置図】



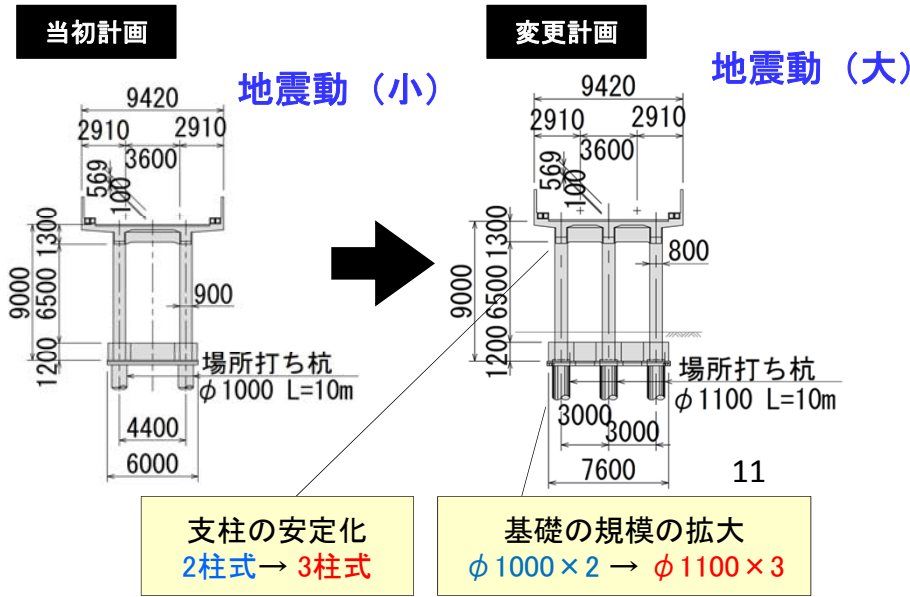
【スペクトルⅠ（海洋型地震）】
海洋型地震を対象とし、これまでの設計で考慮されていた弾性加速度応答スペクトル

【スペクトルⅡ（内陸直下型地震）】
内陸直下型地震を対象として、既往の地震観測記録に基づいて統計解析等により設定した弾性加速度応答スペクトル

【地震動の変更】



設定された応答加速度を踏まえ、動的解析をした結果、下部構造が変更となる。



■事業費の見直し

	当初	変更	増減
総額	21億円	57億円	+36億円

※鉄道構造物等設計標準・同解説（耐震設計） P69

5. 費用対効果

(1) 3便益による事業の投資効果

◇B／C(事業全体) =
$$\frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費減少便益} + \text{交通事故削減便益}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}}$$

【事業全体】

事業箇所名	便益(億円)				費用(億円)			B/C	前回評価時 B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故削減	計	事業費	維持管理費	計		
一般国道302号 名古屋環状2号線	26,006	3,526	505	30,037	11,944	474	12,418	2.4	2.4

【残事業】

事業箇所名	便益(億円)				費用(億円)			B/C	前回評価時 B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故削減	計	事業費	維持管理費	計		
一般国道302号 名古屋環状2号線	617	71	2	690	345	50	395	1.7	1.6

※1 平成22年8月に公表した「将来交通需要推計の改善について」にて検討することになっていた推計手法の改善(第二段階)を反映した将来OD表に基づきB／Cを算出。
※2 残事業のB／C算出にあたっては、未整備区間において、事業を継続した場合に追加的に必要となる事業費の合計と、追加的に発生する便益を対象として算出した。

【前回再評価時からの変更点】

1. H26事業化済道路網に変更(H23→H26) 2. 費用便益分析の基準年次を変更(H23→H26) 3. 全体事業費の見直しによる変更

6. 代替案立案等の可能性の視点

- 一般国道302号名古屋環状2号線は、地形、土地利用状況、主要幹線道路との接続などを勘案した路線計画となっており、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援など、期待される効果が大きい事業で、地域の課題に大きな変化は無いことから、現計画が最も最適であると考えます。

7. 県・政令市への意見聴取結果

■^{あいち}愛知県の意見

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議はありません。
- 2 名古屋環状2号線は、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす環状道路として、本都市圏の今後の発展の為に欠かすことのできない重要な社会基盤であることから、1日も早い開通を期待する。
- 3 なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

■^{なごや}名古屋市の意見

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議は、ありません。
- 2 当該道路は、名古屋圏の環状道路を形成し、名古屋都心部に集中する交通を適切に分散導入する重要な道路であるため、一日でも早い4車化をお願いしたい。

8. 対応方針（原案）

- 一般国道302号^{なごや}名古屋環状2号線の事業を継続する。

きんき じどうしゃどう いせせん なごや かんじょう ごうせん なごや にし とびしま
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)

(道路事業)

説明資料

平成26年12月5日

国土交通省中部地方整備局

愛知国道事務所

中日本高速道路株式会社

目 次

1. 事業概要

(1)事業目的	P 1
(2)計画概要	P 2

2. 評価の視点

(1)事業の必要性等に関する視点 (交通渋滞の緩和・物流効率化の支援・災害に強い道路機能の確保) ...	P 4
---	-----

3. 事業の進捗及び見込みの視点

P 5

4. 費用対効果

(1)3便益による事業の投資効果	P 7
------------------------	-----

5. 代替案立案等の可能性の視点

P 8

6. 県・政令市への意見聴取結果

P 8

7. 対応方針（原案）

P 8

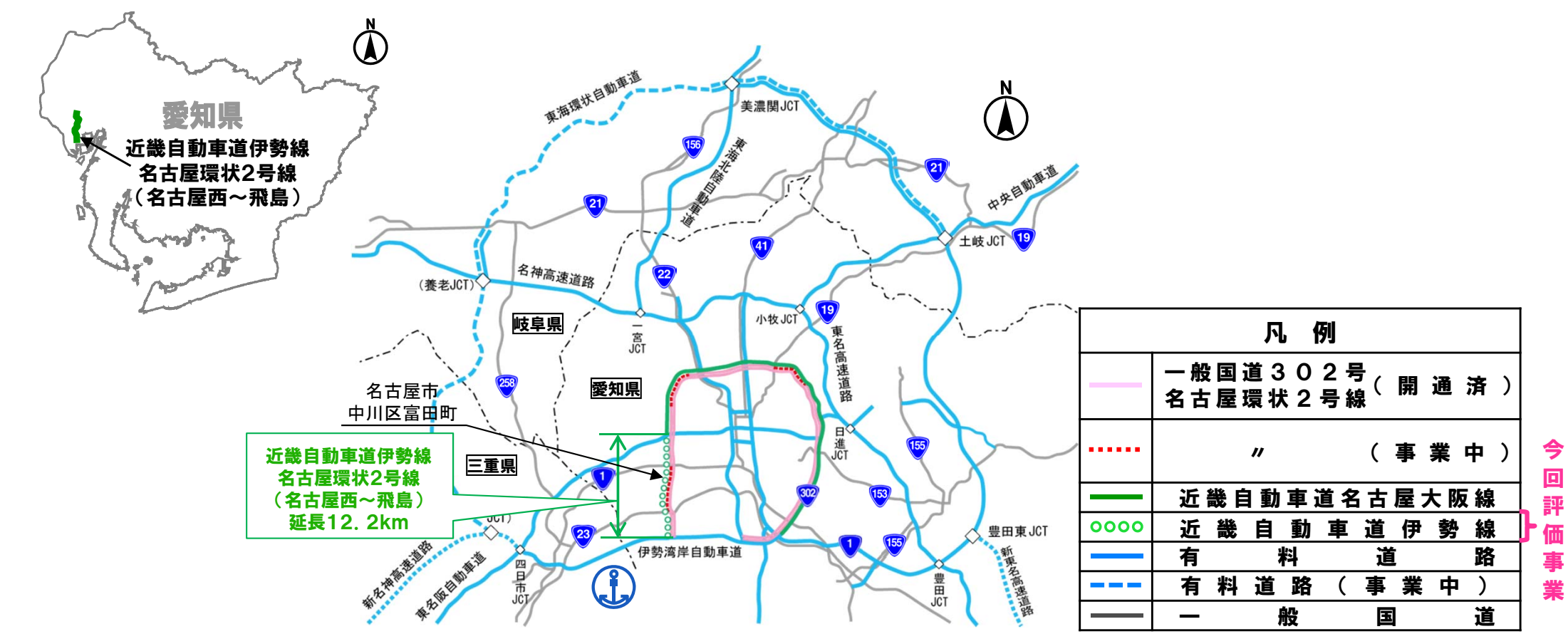
1. 事業概要

(1) 事業目的

近畿自動車道伊勢線は、名古屋市から三重県伊勢市に至る延長約81kmの高速自動車国道であり、名古屋西JCTから飛島JCTまでの延長12.2kmの区間は、名古屋環状2号線の一部区間を形成しています。

名古屋環状2号線沿線では、環状道路及びその内側地域での渋滞、巨大地震発生時の浸水被害など多くの課題があり、本事業の整備により、交通渋滞の緩和、災害に強い道路機能の確保等の効果を見込んでいます。

名古屋環状2号線の全体位置図



今回評価事業

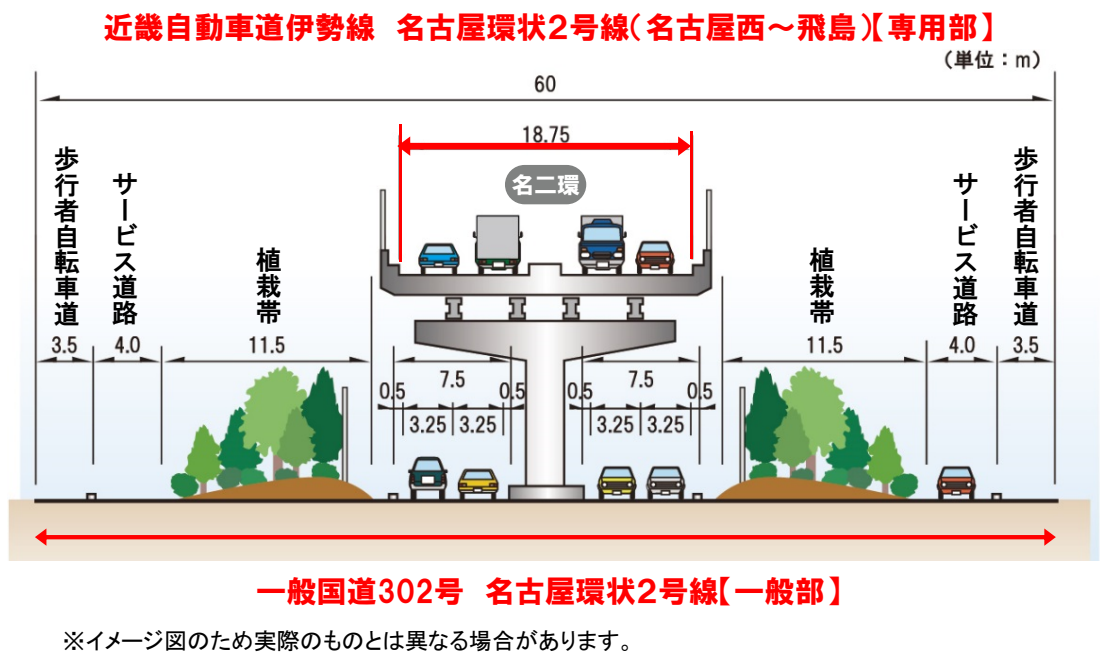
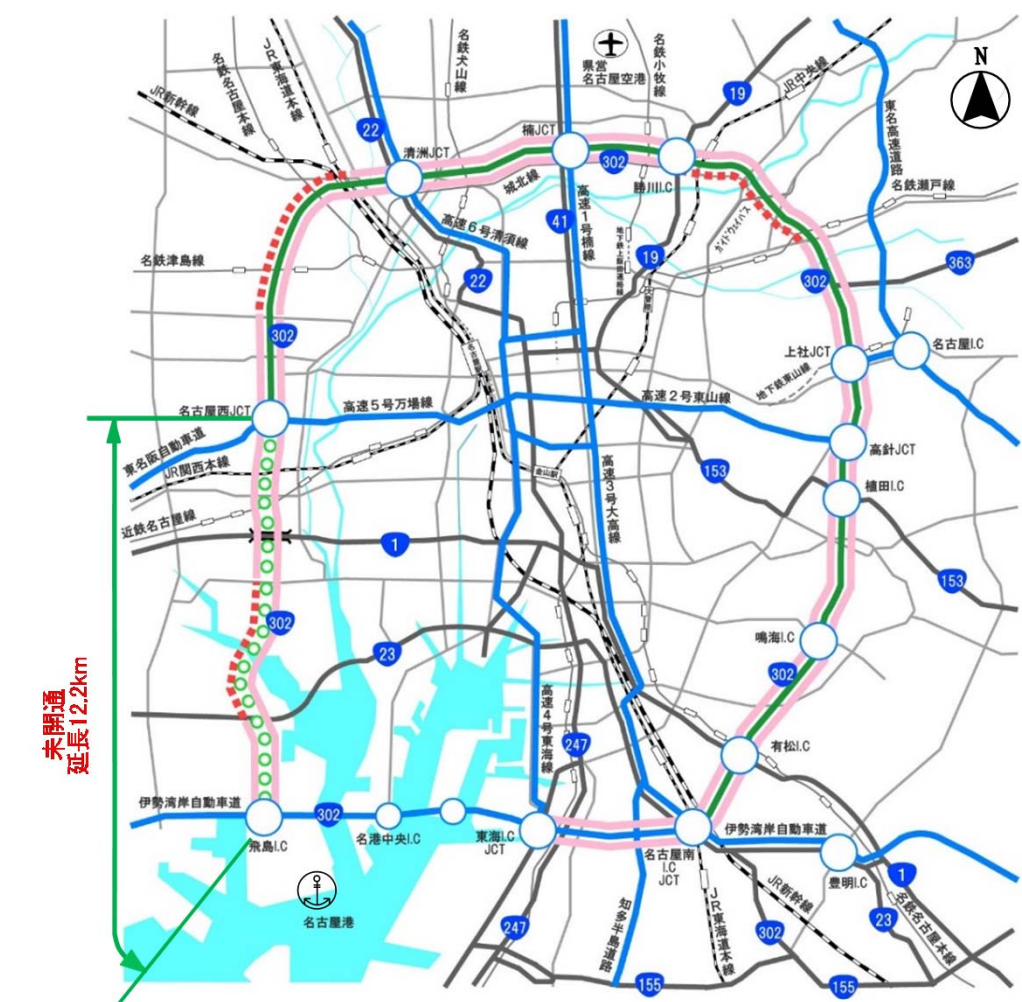
1. 事業概要

(2) 計画概要

名古屋環状2号線は名古屋市周辺の10km圏内に位置する環状道路であり、自動車専用道路(専用部)と一般国道302号(一般部)の複断面により構成されています。

近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)は平成21年度に事業化し、早期開通に向け事業を推進しています。

■近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)の整備状況



1. 事業概要

(2) 計画概要

事業名	近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線 (名古屋西～ ^{とびしま} 飛島)
道路規格	第2種第1級（自動車専用道路）
設計速度	60km/h
車線数	完成4車線
都市計画決定	昭和57年度
事業化	平成21年度
用地着手年度	平成25年度
工事着手年度	平成24年度
延長	12. 2km
前回の再評価	平成23年度 (指摘事項なし:継続)
全体事業費	1, 350億円（増減なし）

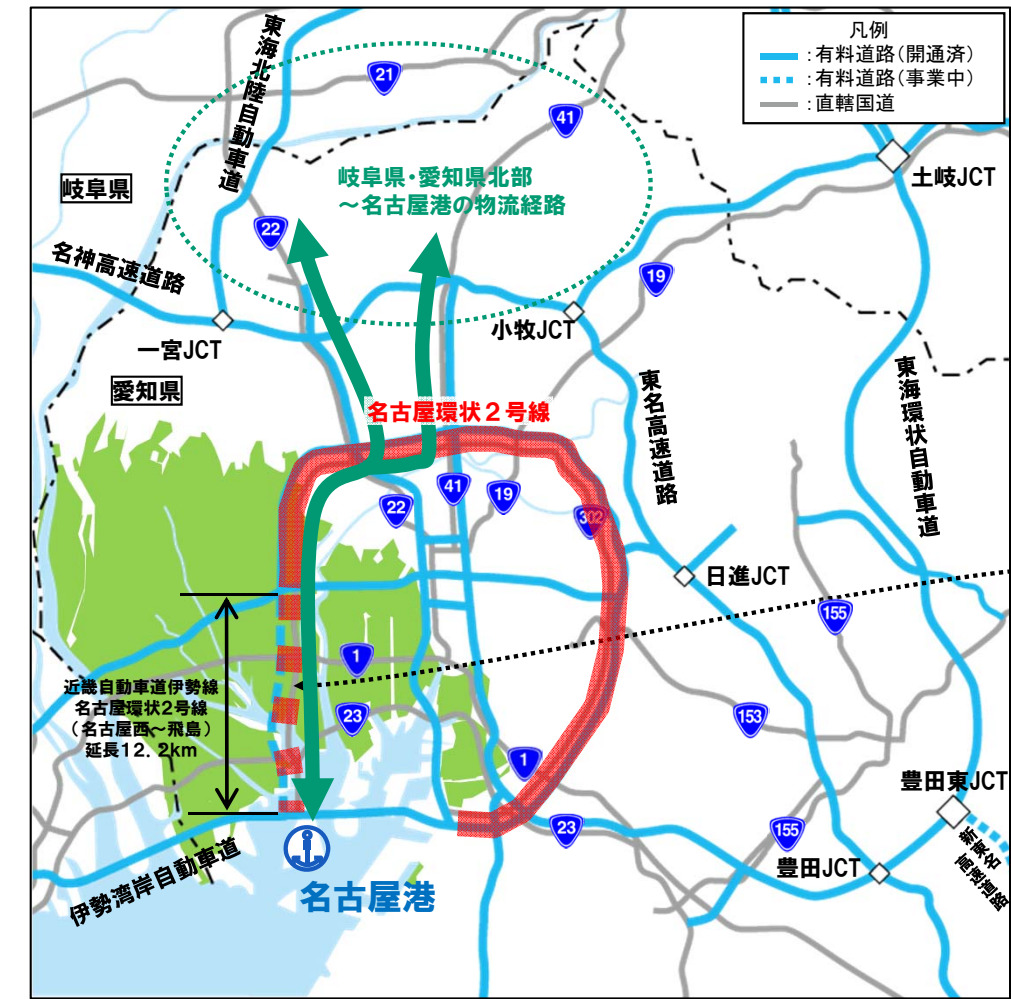
2. 評価の視点

(1) 事業の必要性等に関する視点

■ 交通渋滞の緩和・物流効率化の支援・災害に強い道路機能の確保

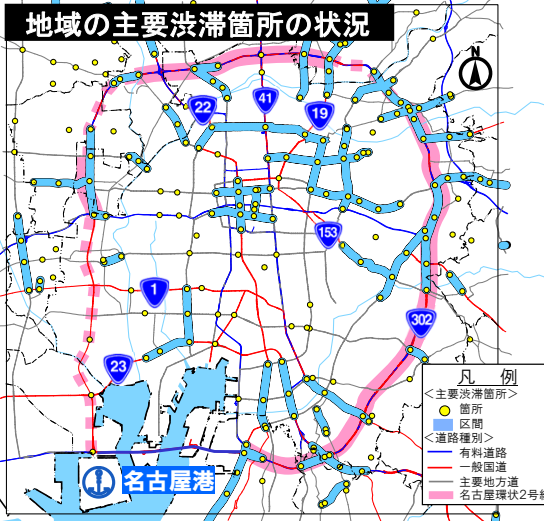
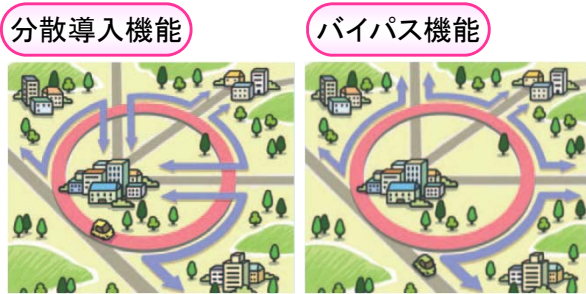
- 本事業の整備により、環状道路の分散導入・バイパス機能が発揮され、環状道路内側及び一般国道302号名古屋環状2号線の渋滞が緩和します。なごや
- 本事業は、岐阜県、愛知県北部地域～名古屋港間の陸上輸送時間を短縮し、物流効率化を支援します。ぎふ あいち なごや
- 高架構造である本事業区間が整備されることで、重要な防災拠点である名古屋港へのアクセスが強化されます。なごや

■ 近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線(名古屋西～飛鳥)に求められる機能



■ 浸水想定区域
※南海トラフ巨大地震モデル検討会(第二次報告) 追加資料を基に作成

■ 期待される環状道路機能

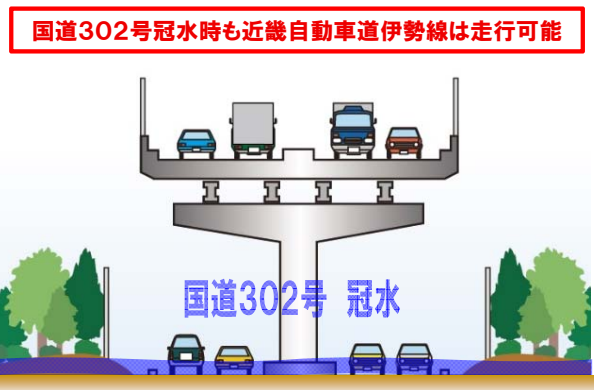


■ 国道302号の交通状況



大西一丁目交差点北側を撮影(H26.7)

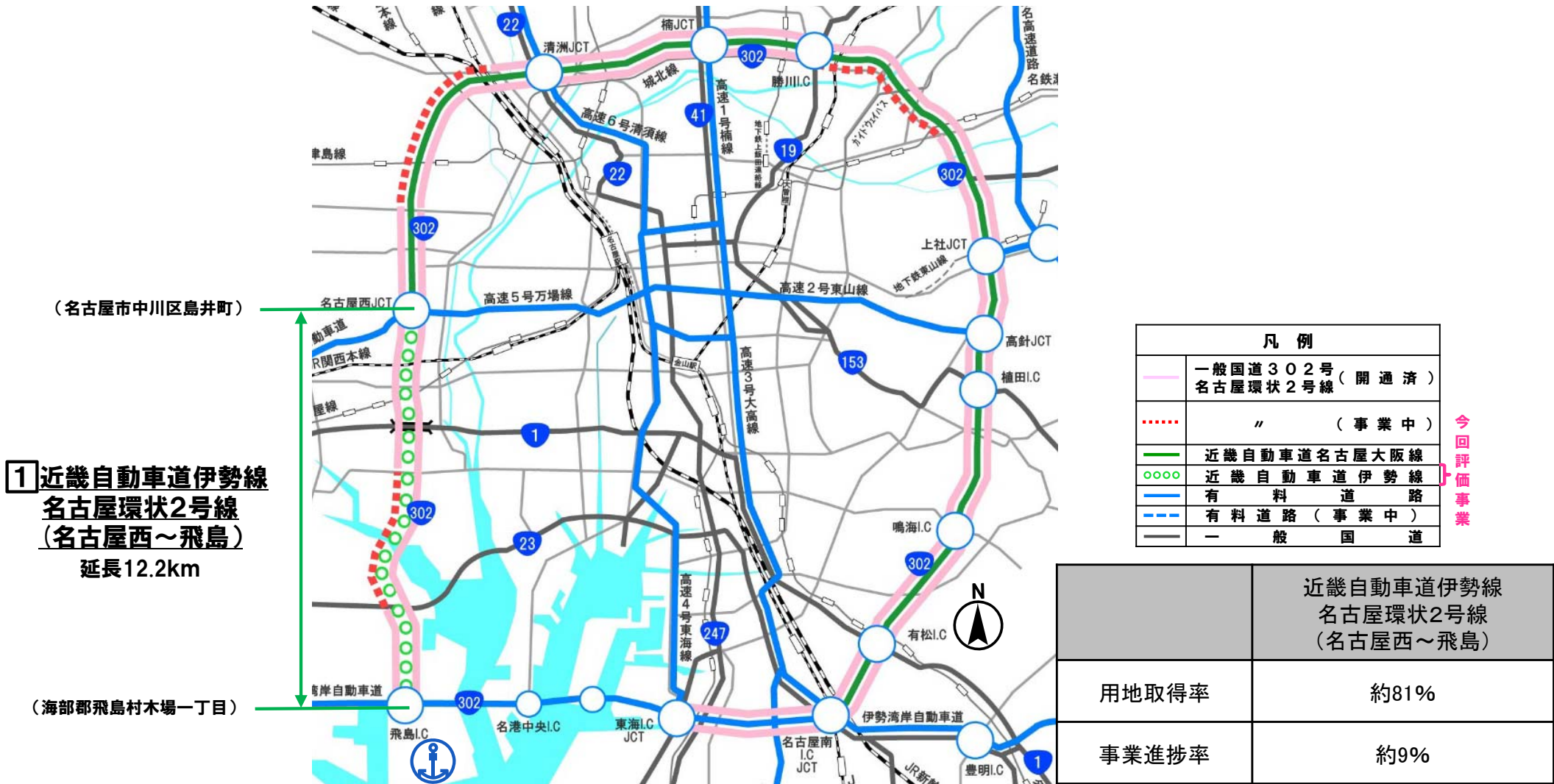
■ 浸水被害発生時の国道302号・近畿自動車道伊勢線(イメージ)



3. 事業の進捗及び見込みの視点

事業の進捗の見込み状況

- ^{なごや}名古屋市 ^{なかがわくしまいちよう}中川区島井町～^{あま}海部郡 ^{とびしま}飛島村 ^{きば}木場一丁目(延長12.2km)
迅速かつ円滑な物流の実現などのため、早期開通に向けて整備を進めていきます。



※事業進捗率及び用地取得率は平成25年度末

3. 事業の進捗及び見込みの視点

1 名古屋市中川区島井町～海部郡飛島村木場一丁目

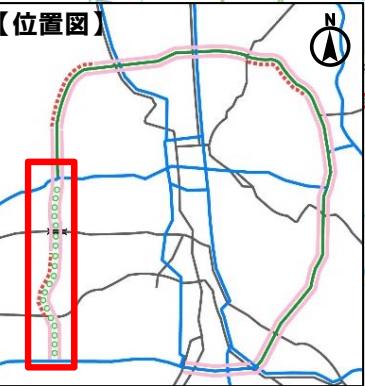
【小川高架橋下部工(上り)の状況【写真①】】



【飛島大橋の状況【写真②】】



- 凡 例
- 国道302号開通済
 - 国道302号事業中
 - 近畿自動車道伊勢線
 - 近畿自動車道名古屋大阪線
 - 有料道路
 - 一般国道
 - 主要地方道及び一般県道



【梅之郷北高架橋下部工(上り)の状況【写真③】】



事業箇所名	事業進捗状況	備考
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線 (名古屋西～飛島)	【用地】 平成25年度より用地取得に着手し、今年度も引き続き推進 【工事】 平成24年度より工事着手し、現在、橋梁下部工工事及び橋梁設計等を推進	

4. 費用対効果

(1) 3便益による事業の投資効果

◇B／C(事業全体) =
$$\frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費減少便益} + \text{交通事故削減便益}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}}$$

【事業全体】

事業箇所名	便益(億円)				費用(億円)			B/C	前回評価時 B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故削減	計	事業費	維持管理費	計		
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線 (名古屋西～飛島)	1, 863	271	104	2, 238	1, 173	107	1, 281	1. 7	1. 5

【残事業】

事業箇所名	便益(億円)				費用(億円)			B/C	前回評価時 B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故削減	計	事業費	維持管理費	計		
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線 (名古屋西～飛島)	1, 863	271	104	2, 238	880	107	988	2. 3	1. 6

※1 平成22年8月に公表した「将来交通需要推計の改善について」にて検討することになっていた推計手法の改善(第二段階)を反映した将来OD表に基づきB／Cを算出。
※2 残事業のB／C算出にあたっては、未整備区間において、事業を継続した場合に追加的に必要となる事業費の合計と、追加的に発生する便益を対象として算出した。

【前回再評価時からの変更点】

1. H26事業化済道路網に変更(H23→H26) 2. 費用便益分析の基準年次を変更(H23→H26)

5. 代替案立案等の可能性の視点

■近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）は、地形、土地利用状況、主要幹線道路との接続などを勘案した路線計画となっており、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、災害に強い道路機能の確保など、期待される効果が大きい事業で、地域の課題に大きな変化は無いことから、現計画が最も最適であると考えます。

6. 県・政令市への意見聴取結果

■愛知県の意見

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議はありません。
- 2 名古屋環状2号線は、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす環状道路として、本都市圏の今後の発展の為に欠かすことのできない重要な社会基盤である。
特に、近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）は、唯一残された未供用区間であり、「国際産業ハブ港」の実現を目指す名古屋港並びに国際拠点空港である中部国際空港への重要なアクセス道路として、本地域の企業活動に大きな影響を与える路線であることから、1日も早い開通を期待する。
- 3 なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

■名古屋市の意見

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議は、ありません。
- 2 当該道路は、名古屋港や中部国際空港への重要なアクセス道路であるとともに、海抜ゼロメートル地帯における緊急輸送道路として機能する道路であるため、1日も早い開通をお願いしたい。

7. 対応方針（原案）

■近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）の事業を継続する。